

# 新高通信



第 1 4 号

秋田県立新屋高等学校

平成 2 2 年度

一般選抜入試合格発表

## 笑顔満開



3月12日、本校の一般入試の合格発表が行われました。午後4時に合格者の番号の並ぶ掲示板が設置されると、一瞬の沈黙の後、歓声がわき起こりました。

時折雪の舞い散る中、自分の番号を見つけ友達と抱き合う男子生徒、感極まり涙を浮かべる女子生徒、携帯電話で記念撮影に収める親子もいて喜びの表現も様々見られました。この感激を忘れることなく、勉学に、部活動に励み、楽しい高校生活を送ってほしいと願います。

この後、3月25日に後期選抜の10名が決まりました。いよいよ新1年生200名の高校生活がスタートします。



〈合格発表に歓声をあげて喜ぶ受検者〉

### 〈第2回学校評議員会を開催〉

平成21年度を総括し、来年度の課題を確認！

去る2月23日(火)、第2回学校評議員会が、イヤタカに於いて開催されました。当日は5名の評議員会の出席を得て、熱心に学校のあり方について話し合いがありました。

はじめに学校長から挨拶があり、その後、各部主任より学校概況について説明いたしました。今年度の教育活動を総括した「学校評価」や生徒の「教育相談アンケート」の結果を踏まえて、それぞれの立場から忌憚のないご意見・ご提言をいただきました。その中からいくつか紹介すると、「進路意欲の欠如している生徒への丁寧な指導の方策」「手を抜かない徹底した進路指導・生徒指導のあり方」「生徒の力を引き出し

てやる指導の工夫」「進路目標の早期設定のためのガイダンス機能の活用法」など、本校へ入学する生徒の実態や進路実績をもとに示唆に富む情報がなされました。これからの本校がどういう生徒を育て、その生徒をどう導いていくのか、まさに学校作りの根幹に関わる貴重な提言をいただきました。



※詳しくは、本校 HP「<http://www.araya-h.akita-c.ed.jp/>」をご覧ください。

学校評議員の方々

渡辺鉄哉

阿彦正道

菊地幸子

安田欽一

嗟峨透 (敬称略)

### ～さらば学食～

19年間の長きにわたって営業していた本校学食が、今年度いっぱい本校を退くことになりました。今月は、その話を聞いて近年の卒業生はもちろん、7年前の卒業生も訪れるなど、連日の賑わいを見せました。

長い間、大変お世話になりました。



## 韓国高校生22名来校

### 交流の花が咲く！！

平成22年2月18日（木）、韓国の平澤市内の高校から22名の高校生（1～2年の生徒会役員）と9名の引率教員、通訳他一行31名が本校を来校しました。これは、日（秋田県）と韓（平澤市）の青少年国際交流事業の一貫として本校訪問が実現しました。

訪問団の一行は午後2時に本校到着後、学習室で歓迎のセレモニーが行われ、学校長・生徒会長の挨拶の後、平澤女子高校のPark so hyumさんから元気のよい訪問の挨拶がありました。片言の日本語混じりで一生懸命学校訪問に期待することを話してくれました。

授業参観は2班に分かれ、英語・書道、理科・美術がそれぞれ特設した体験型授業を提供し、本

校生徒と一緒に参加しました。

出会った時は生徒同士お互いにかしこまり、ぎこちない感じがしましたが、生徒会の心のこもったもてなしが韓国の高校生にもしつかり伝わり、吹奏楽部の演奏に感激の涙も見られました。雪の降りしきる昇降口で、高校生達はいつまでも交換の握手をして分かれを惜しんでいました。



## 第24回 卒業式

3月1日（月）多数の保護者・来賓が見守る中、第24回卒業証書授与式が行われ、卒業生196名は、それぞれの実り多い3年間の思い出と新たなスタートへの希望を胸に式に臨みました。

高橋ひかるさんが、代表として卒業証書を受けとり、生徒会長を務めた金森長君が答辞を述べました。出会った大勢の人々と地域の方々への感謝の思い、そして未来を担う一員として社会に貢献できる社会人になるという決意を込めた真摯な姿勢は、卒業生はもとより参列者全員の心に届きました。

式後、各クラスで学級担任から一人一人に卒業証書が手渡され、各自が将来への熱い思いを自分の言葉で語りました。そして、同級生・後輩に別れを告げ、通い慣れた校舎を後に新たな一歩を踏み出しました。



## 校長先生 ありがとうございます！！ ～最後の授業～

3月18日（木）6・7校時、加藤繁校長先生の国語の授業が学習室で行われました。1年A・B組の生徒全員を対象とした教材は、幼なじみと背丈を比べ合せて温めた淡い恋心を綴る、『伊勢物語』の「筒井筒」。

昔も今も変わることのない恋のせつなさ喜び、それを語る校長先生の熱の籠った口調に、生徒の目はきらきらと輝いていました。また7校時は、病を抱えつつも奇跡の14か月を生き抜き、「たけくらべ」など偉大な著作を世に送り出した才媛、樋口一葉の生きざまを紹介。「『汝何のために其処に在りや』と、常に自らに問いかけよ」という校長先生の言葉をかみしめながら、生徒たちは今後の生き方・在り方に思いを馳せていました。加藤校長先生、本当にありがとうございました。



### 平成21年度進路決定状況（3/23現在）

進学				専修学校	就職		他
大学		短大			県内	県外	
国公立	私立	国公立	私立				
14	43	5	23	67	18	5	21